



日本健康太極拳協会

第31・32回熊本県支部大会

日時：2017年6月25日（日）正午～

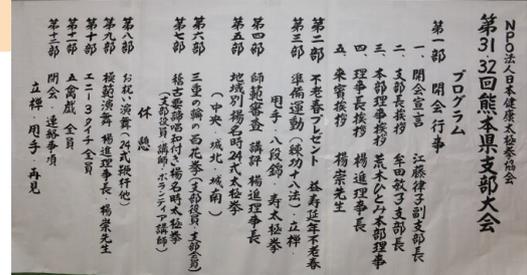
会場：人吉スポーツパレス

昨年は熊本地震のため、支部大会が直前で中止になりました。
今年会場を県南部の人吉スポーツパレスに変更し、楊進理事長、楊崇先生をお迎えして、第31・32回熊本県支部大会の開催となりました。



県下各地より支部会員や愛好者も含め、600名以上の参加者が集まりました。

大会が始まる前、震災で亡くなられた方への黙祷を全員で行いました。



第1部 開会行事

開会の言葉 江藤律子副支部長による開会宣言

支部長挨拶 牟田敏子支部長



今日は熊本県支部で作った復興Tシャツがまぶしいぐらいに光って見えます。震災から1年2ヵ月になります。全国からの様々な支援で熊本にも元気が戻りました。

楊名時太極拳の心「あ・い・お・お・く」（あせらず、いばらず、おこたらず、おこらず、くさらず）を胸に刻み、今日一日、体も心もリラックスして太極拳を楽しみましょう。

本部理事挨拶 荒木ひとみ本部理事

楊進先生、楊崇先生、本日は熊本へお越しいただきありがとうございます。

先日行われた本部の支部長会議で牟田支部長が震災支援のお礼を述べ、復興Tシャツを全国の支部長の皆様へ渡されました。

胸に「ありがとう」のハートを抱いた「くまモンのTシャツ」です。

熊本の心が全国に広がり日本健康太極拳協会のさらなる発展となりますよう願っています。





理事長挨拶 楊進理事長

你好！第31・32回熊本県支部大会の開催おめでとうございます。

今や日本健康太極拳協会は全国で35支部、会員数11,000名を超える数に発展しています。これも各県支部の会員の皆様の努力の結果です。

これから太極拳は社会体育の観点からますます発展していくと思います。

謝謝。



来賓挨拶

熊本県支部のさらなる発展を期待されて挨拶される楊崇先生。



第2部 不老春プレゼント

プレゼンター：楊進理事長、楊崇先生、牟田支部長、荒木本部理事、松川顧問、丸山顧問

80歳以上の58名の参加者一人ひとりにプレゼントが手渡されました。

90歳以上の方も数名参加されていて、最高齢の方は93歳。



お礼の言葉を述べられる地元の稲留久恵さん

「今日はありがとうございました。私たちもますます元気でみなさんと一緒に太極拳を頑張っていきたいと思います」



第3部 全員で



準備運動（練功十八法）

リードは東事務局長

立禅、甩手、八段錦

リードは男性理事役員

（松永、佐々木、坂口、井上）

寿太極拳

80歳以上の参加者による寿太極拳、

リードは松川顧問

「荒城の月」の名曲に合わせて不老拳の演舞

第4部 師範審査



楊進先生立ち会いの下で行われた師範審査

受験者16名は日頃の練習の成果を発揮し、楊名時24式太極拳を見事に演舞
楊進先生の講評「全員合格です。雑味のない気持ちの良い太極拳でした」

第5部 地域別太極拳 3つの地域に分かれて太極拳の演舞

①熊本市内・中央地域



③城南地域



②城北地域



第6部 百花拳

来賓、支部役員、指導員以上の支部会員による

三重の輪での百花拳の演舞



第7部 稽古要諦唱和付き太極拳



教室担当講師・ボランティア講師が
牟田支部長のリードで稽古要諦を唱和
しながら楊名時 24 式太極拳を演舞

第8部 お祝い演舞

リードは楊崇先生

肥後鞭杆の会 120 名で 24 式簡
化太極健身鞭杆、24 式馱騾鞭杆の
お祝い演舞



第9部 模範演技

楊進先生の形意拳の演舞
楊進先生の軽妙な形意拳の技
年齢を感じさせない軽快な動き



楊崇先生の孫式太極拳の演舞



開合の動作から速い動きに移る
楊崇先生の快活な孫式太極拳



楊崇先生の形意鞭杆
緩急をつけたダイナミックな動き、楊崇先生のすばらしい鞭杆の妙技

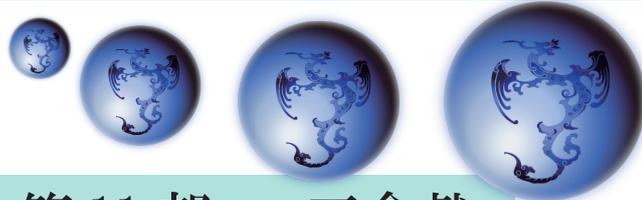


楊進先生と楊崇先生の推手対練
相手の勢いを利用し自在に変化する推手「静を以って動を制す」推手の技



第10部 Any・3・Taichi

リードは介護支援研修会指導員の牟田支部長、
林理事、松本理事



第11部 五禽戯

中国4大気功の一つで、動物の動きを取り入れた五禽戯 リードは荒木本部理事



第12部 閉会



犬童富士子理事の閉会の言葉

「本日は皆様、大変お疲れ様でした。皆様のご協力のおかげで大変スムーズにプログラムが進みました。これで日本健康太極拳第31・32回熊本県支部大会を終わります。再見」



来年もまた元気で会いましょう！

